

事 務 連 絡
令和 6 年 4 月 19 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課
各指定都市教育委員会指導事務主管課
各都道府県私立学校事務主管課 御中
附属学校を置く各国立大学法人附属学校事務主管課
附属学校を置く各公立大学法人附属学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局教育課程課

令和 6 年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会の開催について（依頼）

文部科学省では、学習指導要領の趣旨の実現に資するため、標記協議会を実施要項（別添 1）のとおり開催します。

標記協議会に係る提出資料等については、下記のとおりとします。

本年度も可能な限り多くの方にご参加いただけるよう、参集参加のみならず、オンラインによる参加も可能とするとともに、文部科学省の行政説明については、後日、オンデマンド配信を行う予定です。オンデマンド配信については、本協議会の参加対象者のみならず、市町村教育委員会も視聴することが可能ですので、各都道府県教育委員会におかれましては、域内の市町村教育委員会に対し、この旨を周知し、積極的な視聴について依頼してください。

※本協議会は、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事を主な参加者として念頭においておりますので、各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事の皆様におかれましては、積極的な参加をご検討いただけますようお願いいたします。その際、令和 5 年度の参加者アンケートにおいて、参集参加者の方が本協議会に対する満足度が約 10 ポイント程度高かったこと、インターネット通信環境の安定化には万全の対策を講じますが、一定程度不具合が生じうる可能性があること等を踏まえ、可能な限り参集による参加をご検討いただけますと幸いです。

※国立・公立大学法人附属学校の担当者の皆様におかれましては、地域のモデル校として授業研究等の優れた取組を行うことが求められている附属学校の役割を踏まえ、学習指導要領に関する適切な理解の下に先導的な取組を推進いただく観点から、可能な範囲で参加（参集又はオンライン）又はオンデマンド配信視聴についてご検討いただけますと幸いです。

※私立学校協会、私立学校等におかれましては、上記の協議会の位置づけについてご理解の上で、参加の可否についてご検討ください。

記

1 提出資料

（1）参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書

本協議会への参加者及びオンデマンド配信視聴希望について、別添 1 及び別添 3 を確認の上、【別紙様式 1】により提出すること。

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方

質問事項がある場合は、別添4を確認の上、【別紙様式2】により教育課程に関する質問事項及び都道府県市等としての考え方を付して提出すること。

※質問事項がない場合には、提出は不要。

(3) 各部会における提出資料

別添5及び別添6を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成し、提出すること。

2 提出期限

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】…5月9日(木)

(2) 教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】…5月9日(木)

(3) 各部会における提出資料【別紙様式3～7、その他提出資料】…5月23日(木)

※提出期限までに提出が困難な場合は、事前に連絡すること。

3 提出方法

1の提出資料について、それぞれ下表の左欄の参加者の区分に応じ、右欄の者において取りまとめて提出すること。

なお、1(3)の「各部会における提出資料」については、別途の指定がない限り、協議題ごとに一つのpdfファイル(例：国語部会の協議①の提出資料で一つのpdfファイル、同部会の協議②の提出資料で一つのpdfファイル等)にまとめて提出すること。(※詳細は別添3～5を参照のこと)

参加者の区分	とりまとめ
各都道府県・指定都市教育委員会	各都道府県・指定都市教育委員会
国立・公立大学法人附属学校	附属学校を置く各国公立大学法人
都道府県私立学校担当部局、都道府県私立学校協会及び私立学校等	各都道府県私立学校担当部局

4 提出先

(1) 参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式1】および

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式2】

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係(kyoiku3@mext.go.jp)宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添3、別添4を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号(半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。)、【〇〇県(公)/〇〇市(公)】、高校協議会 (例) 01【北海道(公)】高校協議会
附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号(半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。)、【〇〇大(国)/〇〇大(公)】、高校協議会 (例) 13【学芸大(国)】高校協議会

各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）／〇〇市（私）】、高校協議会 （例）14【神奈川県（私）】高校協議会
---------------	---

（2）各部会における提出資料【別紙様式3～7、その他提出資料】

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。その際、電子メールの件名は以下とする。

※「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。

※クラウドストレージサービス「Box」のURL等については、別添5を参照すること。

とりまとめ	電子メールの件名
各都道府県・指定都市教育委員会	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（公）／〇〇市（公）】、高校協議会、協議題資料提出 （例）01【北海道（公）】高校協議会 協議題資料提出
附属学校を置く各国公立大学法人	法人が所在する都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇大（国）／〇〇大（公）】、高校協議会、協議題資料提出 （例）13【学芸大（国）】高校協議会 協議題資料提出
各都道府県私立学校担当部局	都道府県・指定都市番号（半角。一桁番台の場合は冒頭に0を付して2桁とすること。）、【〇〇県（私）／〇〇市（私）】、高校協議会、協議題資料提出 （例）14【神奈川県（私）】高校協議会 協議題資料提出

5 資料について

（1）各部会資料等は、文部科学省より各部会開催の1週間前までに参加者に電子メールにて送付する予定である。部会当日に紙媒体の配布は行わないので、参集する参加者においては留意すること。

（2）（1）の電子メールが各部会開催の1週間前を過ぎても届かない場合には、教育課程課教育課程第三係に問い合わせること。

【本件担当】

文部科学省初等中等教育局教育課程課
教育課程第三係（木村、青山）

電話：03-5253-4111（内線3706）

電子メールアドレス：kyoiku3@mext.go.jp

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 実 施 要 項

1 目 的

高等学校学習指導要領の趣旨の実現を目指し、教育課程の編成及び実施上の諸問題に関する説明、協議、情報交換等を行い、もって高等学校における教育課程の適切な実施を図ることを目的とする。

2 主 催

文部科学省

3 共 催

国立教育政策研究所

4 部会構成

次の16部会とする。

「総則」「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「保健体育」「芸術（音楽）」

「芸術（美術、工芸）」「芸術（書道）」「外国語」「家庭」「情報」「理数」

「総合的な探究の時間」「特別活動」

※主として専門学科において開設される教科のうち、体育、音楽、美術、英語、理数については、本協議会の関連する部会において取り扱う。

※「地理歴史」部会のみ7月2日（火）午後～3日（水）の1.5日間開催。

※「情報」部会は職業に関する教科の「情報」部会と合同開催とする。

5 期 日

6月24日（月）	「国語」「総合的な探究の時間」
6月25日（火）	「総則」「外国語」
6月26日（水）	「数学」
6月27日（木）	「芸術（音楽）」「理数」
6月28日（金）	「理科」「芸術（書道）」「特別活動」
7月 1日（月）	「芸術（美術・工芸）」「家庭」
7月 2日（火）	「地理歴史」「保健体育」
7月 3日（水）	「地理歴史」
7月 4日（木）	「公民」「情報」

6 日 程

9:30	10:00	12:00	13:30	15:30	16:00
受 付	部 会 ①	休 憩	部 会 ②	講 評	

※日程の詳細については、部会ごとに異なる。

7 開催方法

協議会は、Zoomを使用し、ハイブリッド形式（参加者が会場への参集又はオンラインでの参加を選択する形式）により開催する。

8 会 場

〔情報部会以外〕

独立行政法人国立青少年教育振興機構国立オリンピック記念青少年総合センター
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

総 則	6月25日(火) センター棟311	芸 術 (美術、工芸)	7月1日(月) センター棟416
国 語	6月24日(月) センター棟416	芸 術 (書道)	6月28日(金) センター棟416
地 理 歴 史	7月2日(火) 7月3日(水) センター棟501	外 国 語	6月25日(火) センター棟416
公 民	7月4日(木) センター棟501	家 庭	7月1日(月) センター棟501
数 学	6月26日(水) センター棟311	理 数	6月27日(木) センター棟311
理 科	6月28日(金) センター棟311	総合的な 探究の時間	6月24日(月) センター棟311
保 健 体 育	7月2日(火) センター棟416	特 別 活 動	6月28日(金) センター棟501
芸 術 (音楽)	6月27日(木) センター棟416		

〔情報部会〕

7月4日(木)

株式会社内田洋行 新川本社(東京都中央区新川2-4-7)

※近隣にある「新川第2オフィス」ではございませんのでご注意ください。

※会場の所在地、連絡先、案内図等については、別添2を参照のこと。

9 参加者等

(1)対象者

①都道府県・指定都市教育委員会

各都道府県・指定都市において下記の者から選出することとする。

- i) 各都道府県・指定都市教育委員会の各教科等担当指導主事
- ii) 各都道府県・指定都市において指導的立場にある教員のうち、都道府県又は指定都市教育委員会の推薦する者

②国立・公立大学法人附属学校

参加を希望する国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員

③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等

参加を希望する都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者

(2)人数

参加者として登録する者(協議に参加し、発言する者)については、上記(1)①～③の区分ごとに原則以下の通りとし、参加者は参加方法(参集又はオンライン)を選択すること。

- ・1部会につき1名とする。

- ・特段の事情により参加者を上記人数より増やしたい希望がある場合は、参加者登録の際に別途相談すること。
- ・諸事情により、参加者の出席が叶わなくなった場合は、速やかに教育課程課教育課程第三係に報告すること。

10 各部会における行政説明のオンデマンド配信視聴について

(1)対象者

- ①各都道府県・指定都市教育委員会の指導主事等
- ②国立・公立大学法人附属学校の校長、教頭又は教員
- ③都道府県私立学校担当部局、私立学校協会及び私立学校等の担当者
- ④市町村教育委員会の指導主事
- ※①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等においては、参加者以外の者が、オンデマンド配信の視聴を希望する場合は、(3)の方法により申請すること。
- ※各都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会に対して周知すること。

(2)配信内容の範囲及び配信方法

全ての部会において、文部科学省による行政説明の部分について、後日オンデマンド配信を行う。全部会終了日である7月4日から3週間以内に順次文部科学省 youtube サイトに限定公開かつ期間限定（1か月程度）で動画を掲載する予定である。掲載後、youtube リンク等の視聴方法について(3)により申請のあった各都道府県・指定都市教育委員会等に送付する。申請のあった市町村教育委員会に対しては、各都道府県教育委員会を通じて上記リンク等を連絡することとする。

(3)申請にあたっての留意事項

- ・(1)①②③の各都道府県・指定都市教育委員会等は、視聴希望のある場合、【別紙様式1】により申請すること。
- ・(1)④市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県教育委員会がとりまとめて申請すること。

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
会 場 所 在 地 ・ 連 絡 先 ・ 案 内 図

情報部会以外

○国立オリンピック記念青少年総合センター

住 所：東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL：03-3469-2525

＜最寄り駅から＞

- ・小田急線 参宮橋駅下車 徒歩約7分
- ・地下鉄千代田線 代々木公園駅下車(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分

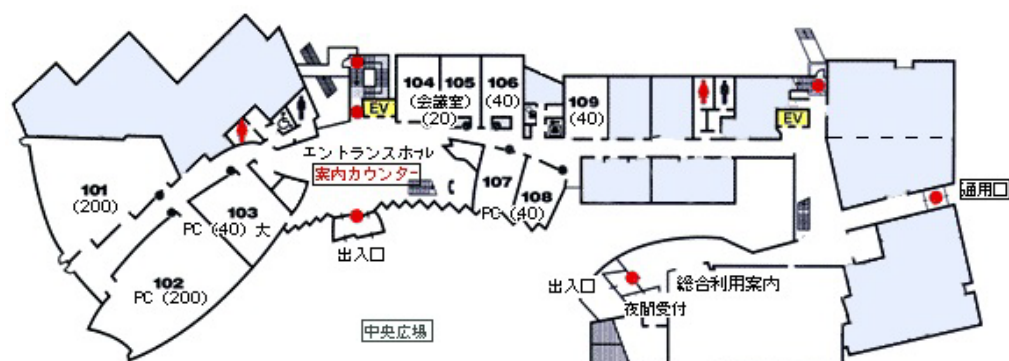
＜京王バス＞

- ・新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
- ・渋谷駅西口(40番)より 代々木5丁目下車

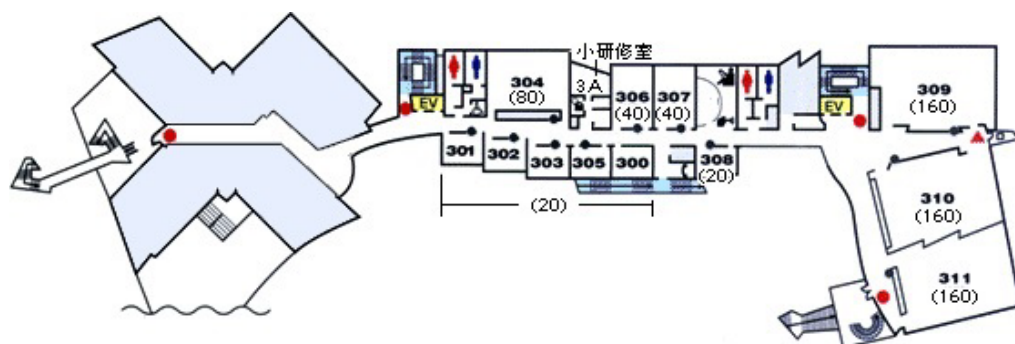


会場平面図

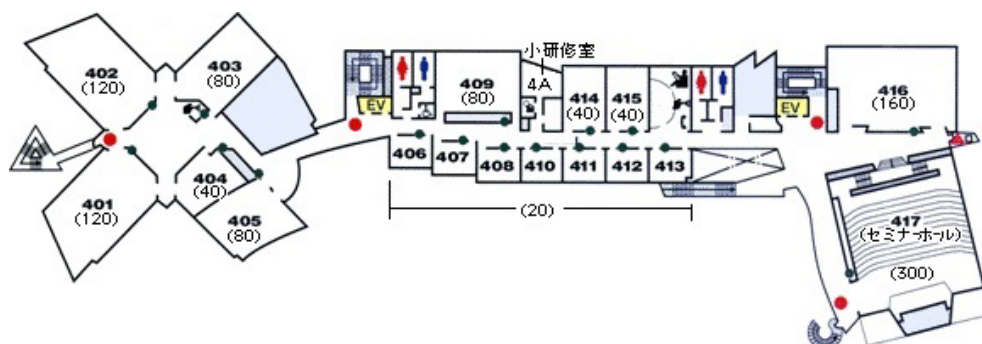
1F



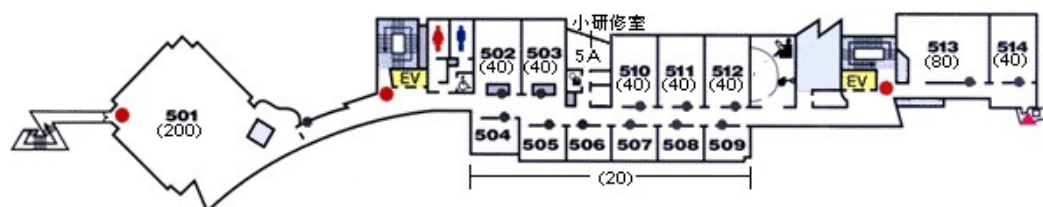
3F



4F



5F



情報部会

○株式会社内田洋行 新川本社

住 所：東京都中央区新川 2-4-7

TEL：03-3555-4072

※近隣にある「新川第2オフィス」ではございませんので、
ご注意ください。



新川本社

新川第2オフィス

https://www.uchida.co.jp/company/corporate/bases_1.html

<最寄り駅から>

- ・東京メトロ 日比谷線「八丁堀駅」下車、「A4」出口より徒歩4分
- ・東京メトロ 日比谷線・東西線「茅場町駅」下車、「1番」出口より徒歩5分
- ・JR 京葉線「八丁堀駅」下車、「B2」出口より徒歩6分

<東京駅よりバスをご利用の場合>

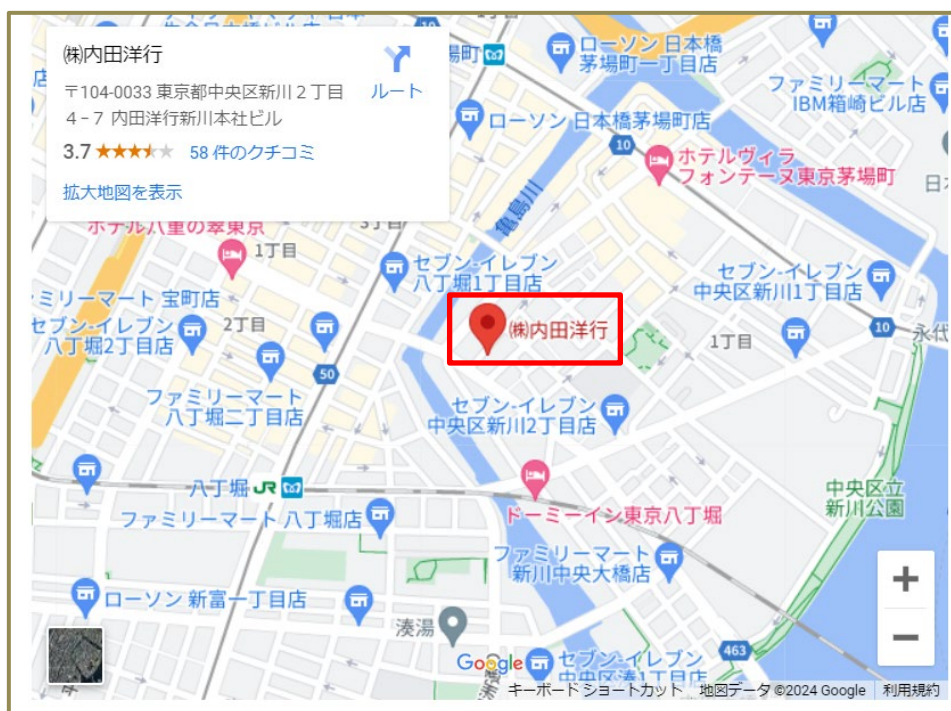
- ・東京駅八重洲南口より「東15系統」もしくは「東16系統」で「深川車庫」、「豊洲駅」、「住友ツインビル」行きで4つめの停留所「新川」（内田洋行本社前とアナウンス有り）で下車 徒歩1分

※お車でのご来館はご遠慮ください。

※情報部会についてのお問い合わせ先

文部科学省 初等中等教育局 学校デジタル化プロジェクトチーム 教育課程課 情報教育振興室

TEL：03-6734-2090



参加者名簿及びオンデマンド配信視聴希望申請書【別紙様式 1】の 作成及び提出方法について

1-1 参加者名簿の作成について

以下の①～⑨の要領で作成すること。

- ① 1 列目には都道府県・指定都市番号、附属学校の場合は学校コードの先頭 5 桁を半角数字で、2 列目には都道府県・指定都市名を記入すること。いずれも参加者全員について記入することとし、空白や「」などとはしないこと。「都」「道」「府」「県」「市」は省略しないこと。
- ② 3 列目にはドロップダウンリストから国立、公立、私立を選択すること。
- ③ 4 列目には氏名を、5 列目にはふりがなを、6 列目には所属及び職名を記入すること。姓と名の間及び所属と職名の間は全角で 1 文字空けること。
- ④ 7 列目には指導主事として従事した通算年数を記入すること。
- ⑤ 8 列目には日常の業務で担当している校種及び教科等を記入すること。
- ⑥ 9 列目にはドロップダウンリストから部会名を選択して記入すること。後日、部会ごとの参加者名簿を作成するため、部会名については必ずドロップダウンリストから選択し、誤りがないよう記入すること。
- ⑦ 10 列目にはドロップダウンリストから参加方法を選択して記入すること。
- ⑧ 11 列目には参加者本人に連絡可能なメールアドレスを記入すること。後日、このメールアドレスに部会ごとの資料等を電子データで送付するので、必ず参加者本人に連絡できるメールアドレスを記入すること。
- ⑨ 12 列目には特記事項があれば記入すること。
※理科部会参加者のみ、各自の専門科目（物理、化学、生物、地学の別）を記入すること。

<留意事項>

- 外字は使用しないこと。代替可能な文字がない場合は、メールで送信するファイルでは当該文字を「?」とし、併せて PDF 化した名簿をメールで送信すること。
- 文字のセンタリングや均等割付、罫線等の装飾は行わないこと。

1-2 オンデマンド配信視聴希望申請書の作成について

以下の①～③の要領で作成すること。

- ① 「オンデマンド配信視聴希望」の欄に、ドロップダウンリストから○又は×を選択し記入すること。
- ② 「主な視聴希望者」の欄に、ドロップダウンリストから選択し記入すること。
- ③ ②において「市町村教育委員会」又は「都道府県教育委員会＋市町村教育委員会」を選択した場合は、「視聴を希望する市町村教育委員会数／管内の高等学校を設置する市町村数」の欄に、視聴を希望する市町村教育委員会数（A）、管内の高等学校を設置する市町村数（B）を、（A）／（B）の形式で記入すること。なお、視聴希望数が確定していない場合は、見込みの数を記入すること。

<留意事項>

- 市町村教育委員会の視聴希望は、各都道府県が取りまとめて申請すること。

2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、教育課程課教育課程第三係（koyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールでその旨を報告すること。

- 「Box」提出フォルダ

<https://mext.ent.box.com/f/5ce7f164141f4bf8b7823d8e8e7631ef>

- ファイル名については、以下のとおりとする。

- ・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞01【北海道（公）】高校協議会参加者名簿

- ・国立・公立大学法人附属学校の場合

学校コードの先頭5桁【学校名（国・公）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞D1131【東京学芸大学附属高校（国）】高校協議会参加者名簿

- ・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会参加者名簿

＜記入例＞20【長野県（私）】高校協議会参加者名簿

3 その他

- 都道府県・指定都市番号について

01 北海道	02 青森県	03 岩手県	04 宮城県
05 秋田県	06 山形県	07 福島県	08 茨城県
09 栃木県	10 群馬県	11 埼玉県	12 千葉県
13 東京都	14 神奈川県	15 新潟県	16 富山県
17 石川県	18 福井県	19 山梨県	20 長野県
21 岐阜県	22 静岡県	23 愛知県	24 三重県
25 滋賀県	26 京都府	27 大阪府	28 兵庫県
29 奈良県	30 和歌山県	31 鳥取県	32 島根県
33 岡山県	34 広島県	35 山口県	36 徳島県
37 香川県	38 愛媛県	39 高知県	40 福岡県
41 佐賀県	42 長崎県	43 熊本県	44 大分県
45 宮崎県	46 鹿児島県	47 沖縄県	48 札幌市
49 仙台市	50 さいたま市	51 千葉市	52 川崎市
53 横浜市	54 相模原市	55 新潟市	56 静岡市
57 浜松市	58 名古屋市	59 京都市	60 大阪市
61 堺市	62 神戸市	63 岡山市	64 広島市
65 北九州市	66 福岡市	67 熊本市	

※ 国公立大学法人については、13桁の学校コードの先頭5桁を記入すること。

（参考）＜学校コード検索サイト＞

[文部科学省 学校コードに基づく学校コード検索（edu-data.jp）](http://www.mext.go.jp/edu-data)

教育課程に関する質問事項及び考え方【別紙様式 2】 の作成及び提出方法について

1 趣旨

教育課程に関する質問のうち、部会全体で考え方を確認・共有すべき事項がある場合、当日、可能な範囲で精選して回答するものである。

2 作成について

- 別紙様式 2 により、各部会の質問事項をまとめて 1 つのシートで作成すること。
- 所定の欄に、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭 5 桁（別添 3 参照）、都道府県市名・学校名等（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）を記入し、部会名をドロップダウンリストから選択すること。
- 「質問事項」欄には、教育課程に関して部会全体で考え方を確認・共有すべき文部科学省に対する質問がある場合は部会ごとに 3 問を限度として簡潔に質問内容を記述すること。なお、質問事項がない場合、提出の必要はない。
- 「考え方」欄には、質問事項について問合せがあった際、どのような回答を行っているかなど、都道府県市等としての考え方を記述すること。

3 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の指定フォルダに提出し、提出が完了次第、教育課程課教育課程第三係（koyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールでその旨を報告すること。

- 「Box」提出フォルダ
<https://mext.ent.box.com/f/5c8e246d9d3b464d81528f6fbf33dc5c>
- ファイル名については、以下のとおりとする。
 - ・ 都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会質問事項

＜記入例＞01【北海道（公）】高校協議会質問事項
 - ・ 国立・公立大学法人附属学校の場合

学校コードの先頭 5 桁【学校名（国・公）】高校協議会質問事項

＜記入例＞D1131【東京学芸大学附属高校（国）】高校協議会質問事項
 - ・ 都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会質問事項

＜記入例＞20【長野県（私）】高校協議会質問事項

各部会における提出資料の作成及び提出方法について

1 作成について

- 別添 6 を確認の上、部会ごとに必要な資料を作成すること。
- 所定の欄に、部会名、都道府県・指定都市名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は学校名等）、都道府県・指定都市番号または学校コードの先頭 5 桁（別添 3 参照）、担当指導主事名（国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等は参加者名）を記入すること。
- 国立・公立大学法人附属学校や都道府県私立学校担当部局等からの参加者についても、可能な範囲で作成し、提出すること。

2 提出方法について

クラウドストレージサービス「Box」内の各部会フォルダに提出し、全ての部会の資料提出が完了次第、その旨を教育課程課教育課程第三係（kyoiku3@mext.go.jp）宛てに電子メールで報告すること。ただし、「Box」内への提出ができない場合は、ファイルを直接教育課程課教育課程第三係宛てに電子メールで提出すること。各部会フォルダのリンクは次頁の表を参照すること。

※ファイルは別途の指定がない限り、協議題ごとに一つの pdf ファイル（例：国語部会の協議①で一つの pdf ファイル、国語部会の協議②で一つの pdf ファイル等）にまとめて提出すること。

- ファイル名については、以下のとおりとする。

・都道府県・指定都市教育委員会の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県市名（公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例> 01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）

01【北海道（公）】高校協議会提出資料②（国語）

・国立・公立大学法人附属学校等の場合

学校コードの先頭 5 桁【学校名（国・公）】高校協議会提出資料（部会名）

<例> D1131【東京学芸大学附属高校（国）】高校協議会提出資料①（国語）

D1131【東京学芸大学附属高校（国）】高校協議会提出資料②（国語）

・都道府県私立学校担当部局等の場合

都道府県・指定都市番号【都道府県名（私）】高校協議会提出資料（部会名）

<例> 20【長野県（私）】高校協議会提出資料①（国語）

20【長野県（私）】高校協議会提出資料②（国語）

※「その他提出資料」の場合は「その他提出資料」とし、協議の提出資料に併せて提出するよう依頼された補足資料等の場合は「（部会名）」の後にその旨追記すること。

<例> 01【北海道（公）】高校協議会その他提出資料

01【北海道（公）】高校協議会提出資料①（国語）補足資料

部会名	フォルダリンク
総則	https://mext.ent.box.com/f/6a16571c97f246948cc160c28bb509e1
国語	https://mext.ent.box.com/f/de0161ff66934eeeeaa66ca23c20d52f7
地理歴史	https://mext.ent.box.com/f/b204e978375d4286a5bb48326ef3d56e
公民	https://mext.ent.box.com/f/d2e072b0d11c46e4877e36ad2be6595f
数学	https://mext.ent.box.com/f/7e6e667188f94a19bcfa6db6219eb731
理科	https://mext.ent.box.com/f/f3e1c3290da645258def821bf091b6f9
保健体育	https://mext.ent.box.com/f/30e7f363285e497792e732483a54ad7a
芸術（音楽）	https://mext.ent.box.com/f/cca9d1066f914397b970799571d55b44
芸術（美術、工芸）	https://mext.ent.box.com/f/4d0bc15794814dc194507f1484f5e368
芸術（書道）	https://mext.ent.box.com/f/c652cf9a71b34df79e590c363bed1c38
外国語	https://mext.ent.box.com/f/02730d3bcf4f45829087c699729022b6
家庭	https://mext.ent.box.com/f/44b9e29757be4a9682ad9b16ffb8e73d
情報	https://mext.ent.box.com/f/5774b2a0a29d46df8afefe74033b7aa2
理数	https://mext.ent.box.com/f/5a3882dbbab84f6b85c268e3fae3115c
総合的な探究の時間	https://mext.ent.box.com/f/46173913a4e846a18bfd80880e8271a4
特別活動	https://mext.ent.box.com/f/a624b6c02e414c50bb978227dd268ef9

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

総則部会

協議①		
	協議題	学習指導要領総則の趣旨実現における重要課題と具体策について
	趣旨	学習指導要領の趣旨の実現に当たっては、地域によって様々な課題があるが、効果的な課題解決に結びつけていくためには、学習指導要領の趣旨を啓発するといった対策に留まらず、各学校が教育課程を編成することや、教師が授業を構想し実施するプロセスを俯瞰的に理解し、その中で学習指導要領が果たしうる役割やその効果的な活用方法について一人一人の指導主事が考えていくことが重要である。 こうした視点から、各学校における教育課程の編成と実施、教師の授業づくりに影響を与える要素(一人一台端末、クラウド等の活用を含む)を洗い出し、要素間の関係を可視化しながら、各自治体等における学習指導要領総則の趣旨実現に向けた重要課題やその解決策について協議する。
	提出資料	域内の高等学校において、教育課程の編成と実施及び教師が授業を構想し実施するまでのプロセスやそれを支える様々な働きを可視化するとともに、それを踏まえた各自治体等における学習指導要領総則の趣旨実現に向けた最重要課題等を別紙様式によりまとめる。
	作成様式	別紙様式4(自治体用)、別紙様式5(附属学校等用)
	提出資料作成に当たっての留意事項	各学校における教育課程の編成と実施、教師の授業づくりに影響を与える要素及び要素間の関係について、できるだけ具体的に記入し、それらに影響を与える自治体及び国(附属学校等は国のみ)の取組について記入すること。サンプル(別紙1)を提供するのでそれを参考に作成頂いてよいが、書きやすいよう工夫頂いて差し支えない。手書きの方が作成が容易であれば、様式を印刷の上手書きで作成し、スキャンした上でPDFで提出しても差し支えない。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		①高等学校学習指導要領(平成30年告示) ②高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総則編
		用意しておく箇所
		資料全体
	インターネットでの掲載場所	① https://www.mext.go.jp/content/20230120-mxt_kyoiku02-100002604_03.pdf
		② https://www.mext.go.jp/content/20211102-mxt_kyoiku02-100002620_1.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

国語部会

協議①		
	協議題	学習指導要領に基づく授業づくりの更なる充実に向けて① —学習指導要領実施後2年間に於ける国語科の現状に関する具体的なデータについて—
	趣旨	学習指導要領実施後3年目を迎え、それまでの2年間に於ける学習指導要領の実施状況について、できるだけ客観的なエビデンスに基づいた成果と課題を共有することによって、全国的な授業改善の状況を把握するとともに、参加者管下・所属の学校に於ける3年目以降の授業改善の展望を確かなものにするを目的とする。
	提出資料	・協議題を踏まえ、以下の1～3について、それぞれ項目を設けて具体的に記載する。 1. 学習指導要領告示後に、貴管下・所属の学校において行ってきた、学習指導要領周知の取組の内容(直近数年間を概観する。)。 2. 貴管下・所属の学校に於ける、資料作成時に於ける学習指導要領の実施状況(可能な限り、具体的なデータに基づいて、成果と課題を整理する。)。 3. 2. を踏まえ、今後の改善に向けて、行う予定の取組の内容(今後数年間を見据える。)。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	・記載に当たっては、効果的だった研修方法、特色ある研修、訪問時の指導助言の工夫、一人一人の先生方に適切な情報を届けるための工夫など、任意にいくつかの観点を立てて、まとめること。また、ICTの活用についても触れること。 ・いずれも別紙様式により、A4判で作成すること(1及び2はページ数自由。3は1ページ以内。)。近年、記述量が簡潔すぎるものが一部認められるため、他の参加者に伝わるよう、具体的な記述に努めること。 ・資料の作成に当たっては、前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料を参考にするとともに、特に新任の指導主事におかれては、前任の方から十分情報を得ておくことが望ましい。 【協議の進め方】 ・研究協議においては、持ち寄った事例について、グループ内で発表の後、協議題に即して協議し、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う予定である。 ・別途、特定の参加者による事例発表を行う可能性がある。
協議②		
	協議題	学習指導要領に基づく授業づくりの更なる充実に向けて② —国語科の授業改善を牽引する教師の育成について—
	趣旨	学習指導要領実施後3年目を迎え、協議①で共有した、それまでの2年間に於ける学習指導要領の実施状況に基づき、地域の授業改善を牽引する教師に関する実態について、活動の特徴や傾向、育成に向けた取組の工夫などを共有することによって、全国的な授業改善の状況を把握するとともに、参加者管下・所属の学校に於ける3年目以降の授業改善の展望を確かなものにするを目的とする。
	提出資料	・協議題を踏まえ、以下の1～3について、それぞれ項目を設けて具体的に記載する。 1. 貴管下・所属の学校において、学校や地域における授業改善を牽引している教師について、その活動の特徴や傾向、周囲をリードするに至った経緯など(「A教諭」「B教諭」などとして、複数挙げる。)。 2. 1. に挙げたような教師を育成するために行った取組と工夫点(自らが行ったものがなければ、行われたと考えられるものでもよい。)。 3. 1. 及び2. を踏まえ、今後、貴管下・所属の学校において、授業改善を牽引する教師を増やすために行う予定である取組の内容(実現可能性が低いと考えられるものも含めて、できるだけ多く箇条書きで示す。)。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	・記載に当たっては、紹介する教師のリーダー像が伝わるよう、授業改善について印象的だったエピソードなどを交えてまとめること。 ・いずれも別紙様式により、A4判で作成すること(1はページ数自由。2及び3は各1ページ以内。)。近年、記述量が簡潔すぎるものが認められるため、他の参加者に伝わるよう、具体的な記述に努めること。 ・資料の作成に当たっては、前回までの指導主事会の行政説明資料や各参加者作成資料を参考にするとともに、特に新任の指導主事におかれては、前任の方から十分情報を得ておくことが望ましい。 【協議の進め方】 ・研究協議においては、持ち寄った事例について、グループ内で発表の後、協議題に即して協議し、グループごとに発表し、全体で情報共有を行う予定である。 ・別途、特定の参加者による事例発表を行う可能性がある。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	・学習指導要領国語科の周知徹底、教育課程の編成、授業改善等に関して、貴教育委員会等が、学校・教員対象に作成・配付した説明資料等
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	・前回指導主事会以降に作成・配付したもののみでよい(学習評価のみの資料を含む。)。 ・様式は任意で構わないが、原則1ページ目の上部に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。
その他部会当日に資料を用意しておくに資料に	①	資料名 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 国語編
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/content/20210909-mxt_kyoiku01-100002620_02.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 国語】
		用意しておく箇所 資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kokugo.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

地理歴史部会

協議①		
	協議題	課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用
	趣旨	各都道府県市あるいは附属学校等における状況を踏まえて、高等学校地理歴史科における「課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用」の現状と課題について共有し、効果的な指導助言の方法について検討する。
	提出資料	「課題を追及、解決する過程におけるICTの効果的な活用」についての現状と課題に関する質問事項についてアンケートフォームより回答する。
	作成様式	アンケートフォームより回答
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>【協議の進め方】 下記URLからアンケート回答フォームにアクセスし、回答すること。なお、本協議会参加者自身の理解で答えていただければ十分であり、本アンケートについて域内の学校に展開することは控えていただきたい。 アンケート回答フォーム: https://forms.office.com/r/aXpgJxVQVvk</p>  <p>【協議の進め方】 アンケートの回答結果や事例発表を基に、グループごとに、現状や課題についての情報交換及び課題に対する教育委員会及び附属学校等の今後の取り組みについて協議を行う。</p>
協議②		
	協議題	「社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得する」場面に関する学習指導と学習評価
	趣旨	地理歴史科における指導計画の作成に当たっては、科目の特質に応じた見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得したり、社会との関わりを意識した課題を追及したり解決したりする活動の充実を図ることが求められている。令和5年度教育課程研究協議会(高校・地理歴史部会)においては、まとめとして位置付けられる中項目の適切な実施について考察し、まとめの学習を充実させる上で、それまでの内容の学習が重要であることを確認した。そのため、各科目の特質に応じた見方・考え方を働かせて学ぶことにより、事実等に関する知識を相互に関連付けて概念に関する知識を獲得し深い学びをどのように実現させるかについて、説明、協議、情報交換等を行い、もって高等学校地理歴史科の適切な実施を促進する。
	提出資料	貴管内における実態を踏まえ、以下についてそれぞれ項目を設けて作成すること。 (1) 地理総合における「社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得する」場面における学習指導と学習評価の現状と課題 (2) 歴史総合における「社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得する」場面における学習指導と学習評価の現状と課題
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・(1)と(2)について、合わせてA4判3ページ以内で作成すること。 ・協議題に関連した資料などがある場合、任意の様式で提出資料に含めること。また、(1)と(2)についてこれまでの提出資料や管内における好事例など、具体的な実践事例があれば含めることも可。</p> <p>【協議の進め方】 当日は、グループで提出資料を基に、行政説明を踏まえて、「社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得する」場面における学習指導と学習評価についての協議、情報交換等を行う。その後、複数のグループによる発表を通じて、協議した結果を全体で共有する。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		資料全体
		インターネットでの掲載場所
	②	資料名
		資料全体
		インターネットでの掲載場所

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

公民部会

協議①		
	協議題	「公共」実施2年目の現状と課題について
	趣旨	「公共」実施2年目を振り返り、「公共」の学習指導の課題及びその改善に向けた教育委員会・附属学校等の取組について考える。
	提出資料	「公共」実施2年目の現状と課題について
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たったの留意事項	<p>以下の項目にしたがって、「公共」2年目の現状と課題について、A4判2ページ以内でまとめること。</p> <p>1. 「公共」の学習指導と学習評価の現状と課題</p> <p>(1)学習指導の現状と課題について</p> <p>①大項目A</p> <p>②大項目B</p> <p>③大項目C</p> <p>(2)学習評価の現状と課題について</p> <p>(3)上記(1)と(2)以外の「公共」実施上の課題</p> <p>※一人一台端末やクラウドの活用状況、成果と課題についても明記すること。</p> <p>2. 課題の改善に向けた今年度の教育委員会・附属学校等の取組予定</p> <p>(1)上記1. (1)から(3)の課題の改善のポイント</p> <p>(2)今年度の具体的な取組予定</p> <p>※一人一台端末やクラウドの活用に関わる取組予定についても明記すること。</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>事例発表及び提出資料を基に、グループで「公共」2年目の現状と課題及びその改善に向けた教育委員会・附属学校等の取組について協議する。その後、いくつかのグループから発表し、全体で情報共有を行う。</p>
協議②		
	協議題	「公共」と「倫理」「政治・経済」との関連を図ることの重要性について
	趣旨	公民科において、「倫理」「政治・経済」が、今年度本格的に実施されているところである。「倫理」「政治・経済」の学習に当たっては、『「公共」で身に付けた選択・判断の手掛かりとなる考え方』を生かして学習指導を展開するなど、公民科を構成する科目として相互の関連を図ることが必要である。そこで、文部科学省による「公共」と「倫理」「政治・経済」との関連を図る上でのポイントに関する説明を踏まえ、「倫理」「政治・経済」の学習指導の在り方について考える。
	提出資料	「倫理」「政治・経済」の課題及びその改善に向けた教育委員会・附属学校等の取組予定について
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たったの留意事項	<p>以下の項目にしたがって、「倫理」「政治・経済」の課題及びその改善に向けた教育委員会・附属学校等の取組予定について、A4判1ページ以内で簡素にまとめること。</p> <p>1. 「倫理」の課題とその改善に向けた取組予定</p> <p>2. 「政治・経済」の課題とその改善に向けた取組予定</p> <p>3. (もしあれば)上記1と2以外の「倫理」「政治・経済」実施上の課題</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>当日は、提出資料を基に、行政説明を踏まえ、グループで「倫理」「政治・経済」の学習指導の在り方について情報交換を行う。その後、いくつかのグループから発表し、全体で情報共有を行う。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		資料全体
		インターネットでの掲載場所
	②	資料名
		資料全体
		インターネットでの掲載場所

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

数学部会

協議①		
	協議題	統計的内容の指導に関する実際上の課題とその対応について
	趣旨	平成30年告示高等学校学習指導要領における数学科の改善事項の一つに統計的内容の充実がある。そこでは内容の新設があり、また情報科との連携も期待されているところである。そのようななか数学B「統計的な推測」の指導まで終えた学校も増えてきていると推察される。そこで、統計的内容の指導に関する現状と課題を共有するとともに、その対応について情報交換を行い、教育課程の適切な実施へとつなげる。
	提出資料	貴管内(附属学校等においては貴校内)における実態を踏まえ、次の3点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述する。なお、一人一台端末やクラウド等を活用した指導についても触れること。 (1)統計的内容の指導に関する現状と課題 (2)それらの課題の改善に向けた対応 (3)統計的内容に関する情報科との連携の現状
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判2ページ以内で作成すること。 ・関連して公開している資料があればそのURL等を記入すること。 ・(1)の「統計的内容」の具体は数学Ⅰ「データの分析」での「仮説検定の考え方」と数学B「統計的な推測」のことを指す。 ・(2)では、(1)で挙げた課題の改善に向けた取組や、授業の好事例があれば具体的に記すこと。それらが特になければ、課題の改善に向けた取組や指導上の工夫のアイデアを具体的に記すこと。 ・(3)では具体的な授業事例があれば挙げること。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で現状と課題を共有し、協議しながら、共通する課題や改善を図るためのアイデア等を整理する。
協議②		
	協議題	数学的活動を通して生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る単元指導計画のあり方について
	趣旨	指導計画作成上の配慮事項(1)に、数学的活動を通して生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすることや、その際に「数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、(中略)概念を形成するなどの学習の充実を図ること」が挙げられている。各校が、日常や社会の事象を考察の対象とすることも含めた数学的活動を通じた学びの実現に向けて、「時間が足りない」「本校の生徒には難しい」といった課題を解消していくために、単元指導計画の果たす役割は大きい。そこで、数学的活動を通じた学びの実現を図るようするための単元指導計画のあり方について協議し、教育課程の適切な実施へとつなげる。
	提出資料	貴管内(附属学校等においては貴校内)における単元指導計画の具体的事例を1点提出する。 貴管内において既に例示しているもの、学校や研究組織等が既に作成したもの、あるいは担当指導主事が新たに作成するものなどどれであってもかまわないが、数学的活動を通して生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る単元指導計画として参考になる事例を提出すること。
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・貴管内(貴校内)で用いている様式等がある場合は、その判や事例のページ数のままでよい。それ以外はA4判にて作成すること。 ・右上に都道府県・指定都市名(附属校等の場合は学校名)と県市番号(附属校等の場合は学校コードの先頭5桁を記入)を挿入すること。 ・関連して公開している資料があればそのURL等を記入すること。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で各管内で用いている単元指導計画について共有し、数学的活動を通じた学びの実現に向けた単元指導計画のあり方を協議する。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 数学編 理数編
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
	③	資料名
		「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校数学】
		用意しておく箇所
	④	インターネットでの掲載場所
		資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)
		資料全体(データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。)

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理科部会

協議①		
	協議題	学習指導要領実施2年間(R4、5)の成果と課題、課題に対する対応について
	趣旨	学習指導要領実施2年間(R4、5)の成果と課題や、課題に対する対応について協議し、各都道府県・政令指定都市（又は各附属学校等）における今後の対応の参考とする。
	提出資料	学習指導要領実施2年間(R4、5)の成果と課題や、課題に対する工夫や手立て、教育委員会（又は各附属学校等）の支援をまとめた資料
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題は、主なものをそれぞれ3つ程度挙げること。なお、そのうち1つは、一人一台端末やクラウド等を活用した際の成果や課題とすること。 ・成果と課題を記載する際には、可能な限り、定量的なものやエビデンスに基づく記載とすること。 ・附属学校については、学校での成果と課題をまとめること。 ・A4判1ページで作成すること。 <p>【協議の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成果と課題、課題に対する対応について、グループ内で協議する。
協議②		
	協議題	提示した学習指導案に対する指導助言について
	趣旨	学習指導案に対して、適切に指導助言ができるようになることを目指し、指導助言の内容を協議する。
	提出資料	提示した学習指導案（別紙2）に対する指導助言の内容をまとめた資料
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・提示した学習指導案（別紙2）について、学習指導要領の趣旨に照らして、次の2点について箇条書きで示すこと。 ①優れていると考えられる箇所とその理由について ②適切ではないと考えられる箇所とその箇所をどのように修正すれば良いかについて ・A4判2ページ以内で作成すること。 <p>【協議の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提示した学習指導案に対する指導助言の内容を協議する。協議した内容をグループごとに発表し、全体で情報を共有する。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理科編」
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）
		https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1407074.htm
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 共通教科 理科】
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）
		https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou.html

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

保健体育部会

協議①			
	協議題	保健体育に関する課題解決に向けた取組について	
	趣旨	自治体における保健体育に関する課題の把握や、他自治体の課題・事例等を共有・協議することを通して、指導主事としての今後の実践や具体的な支援の在り方等につなげる。	
	提出資料	各自治体における体育に関する課題について、下記の4つの【課題の内容】から1～2つ選び、具体的な取組等をA4判1ページにまとめること。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>下記の4つの【課題の内容】から1～2つ選び、《留意事項》を踏まえて作成すること。 (グループ及び全体協議等において、事例の情報共有、課題解決に向けた協議等で資料を活用する)</p> <p>【課題の内容】(カッコ内は例)</p> <p>①保健体育に関する施策等に関すること(自治体の振興計画 等)</p> <p>②保健体育の授業に関すること(指導と評価、内容の系統性、ICTの活用、カリキュラム・マネジメント、体育と保健の関連 等)</p> <p>③保健体育の授業以外に関すること(運動習慣の形成、授業以外の体力向上、家庭・地域との連携 等)</p> <p>④研修の在り方に関すること(コロナ以降の実技研修、効果的な研修の在り方 等)</p> <p>※附属学校等の参加者については、②または③を選択し資料を作成すること。</p> <p>《留意事項》</p> <p>作成の際は以下の項目について記述すること。</p> <p>①「現状と課題」(なぜこの課題を選択したか、課題を解決することでどのような効果を期待しているか)</p> <p>②「課題に対する取組状況」(現在の進捗状況)</p> <p>③「今後の取組の予定」</p>	
部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 保健体育編 体育編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_07_1_2.pdf
	②	資料名	(あれば)自治体で作成している資料や教育委員会等で作成・使用をしている関連資料等
		用意しておく箇所	
		インターネットでの掲載場所	

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(音楽)部会

協議①		
	協議題	高等学校芸術科音楽の教育課程の編成に係る成果と課題及びその対応について
	趣旨	高等学校芸術科音楽の教育課程の編成に関する説明を行うとともに、高等学校芸術科音楽の年間指導計画に係る、各地域における好事例等を共有し、それらから浮かび上がった成果と課題等について協議及び情報交換を行う。
	提出資料	○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて具体的に報告するとともに、その成果と課題等について考察し記述すること。 (1) 貴管内における「音楽Ⅰ」の年間指導計画の好事例等(附属学校等については、学校での年間指導計画等) (2) 貴管内における教育課程の編成に係る研修等での周知や協議の内容(附属学校等については、学校での教育課程の編成に係る協議等の内容)
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	A4判2ページ以内に項目を立ててまとめること。 年間指導計画の編成に係る好事例等については、過年度のものや、都道府県市で作成したモデル等でもかまわない。また、教科等横断的な視点や学校段階等間の接続の視点で充実させた取組などが望ましい。 また、参考として都道府県市作成の既存資料等があれば提出してもよい。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で提出資料の概要を報告し、その内容を基に成果と課題及びその解決に向けた取組について協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所 資料全体
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(音楽)】
		用意しておく箇所 資料全体
		インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_ongaku.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(美術, 工芸)部会

協議①			
	協議題		高等学校芸術科(美術, 工芸)における鑑賞の学習に関する成果と課題
	趣旨		各都道府県、指定都市において、高等学校芸術科(美術, 工芸)の鑑賞の学習に関しての内容や実施についての状況を振り返り、その成果と課題を共有することを通して、課題解決に向けての方策を協議する。
	提出資料		高等学校芸術科(美術, 工芸)における鑑賞の学習に関する成果と課題
	作成様式		別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項		<p>○各都道府県、指定都市における鑑賞の学習に関しての成果と課題をA4判1～2ページ程度にまとめること。その際、各地域に合わせて項立てし、特徴的なものに絞って記述してもよい。例えば次の点が視点となることが考えられる。</p> <p>【例】・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「A表現」及び「B鑑賞」相互の関連(発想や構想に関する資質・能力と鑑賞に関する資質・能力を総合的に働かせる) ・[共通事項]の取扱い ・「美術作品などに関する鑑賞」「美術の働きや美術文化に関する鑑賞」について ・他教科や美術館との連携 など <p>※美術Ⅰか工芸Ⅰのどちらでもよい。</p> <p>※各地域の説明会や研修等で指導・助言の際に使用した資料があれば、別途添付すること。(任意)</p> <p>※附属学校等においては、学校内の取組を基に成果と課題を記述</p> <p>【協議の進め方】</p> <p>提出資料をもとに、鑑賞の学習に関する成果と課題を共有し、課題解決に向けての方策についてグループで協議する。その際、グループごとに1シートに簡潔にまとめ、発表し全体で情報共有を行う。</p>
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所	芸術編のうち芸術科(美術, 工芸)に係る部分及び美術編
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 芸術(美術), 芸術(工芸)】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	<p>芸術(美術) https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_bijutsu.pdf</p> <p>芸術(工芸) https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_kougei.pdf</p>

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

芸術(書道)部会

協議①		
	協議題	高等学校芸術科(書道)における、指導と評価の一体化に向けた取組の現状と課題
	趣旨	指導と評価の一体化に向けた取組の進捗状況、実践事例、課題について共有し、情報交換及び協議を行うことにより、教育課程の適切な実施を図る。
	提出資料	○協議題に係る以下の2点の両方又はいずれかについて、具体的な事例並びに成果と課題について記述すること。 (1) 貴管内における、指導と評価の一体化に向けた取組(指導と評価の計画、学習評価の工夫・改善、指導の工夫・改善等)の実践事例と成果・課題 (2) 貴管内における、指導と評価の一体化に向けた取組を推進する上での課題及び課題の解決に向けた自治体の取組
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・A4判1～2ページ程度にまとめること。 ・(1)については、適切に要点をまとめて報告すること。附属学校等は、先進的な取組を是非報告していただきたい。 ・(2)については、研修会等での協議の中で現場から出された課題と自治体(教育委員会・担当指導主事)が考える課題とを明確に区別して示し、それらの課題に対する自治体による解決のための取組を示すこと。附属学校等も同様に、指導と評価の一体化に向けた貴校における課題や解決の取組を報告すること。 ・協議の参考となる自治体及び附属学校等作成の関連資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。また、GIGAスクール(1人1台端末やクラウドの効果的な活用事例や進捗状況)の取組についても共有していただきたい。その場合、上記ページ数を超過してもよい。 <p>【協議の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提出資料の概要をグループ内で報告し合い、その内容に基づいて協議を行い、グループごとに協議内容をまとめ発表し全体で情報共有を行う。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		書道Ⅰ、書道Ⅱ、書道Ⅲ
		https://www.mext.go.jp/content/1407073_08_2.pdf
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		「指導と評価の一体化」のための学習指導に関する参考資料【高等学校 芸術(書道)】
		用意しておく箇所
	②	資料全体
		インターネットでの掲載場所
		https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_shodou.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

外国語部会

協議①			
	協議題	発信能力の育成に向けた指導・助言の改善に向けて	
	趣旨	学習指導要領では、「言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成すること」としている。これまでの英語教育実施状況調査等の結果から、高等学校において授業中の生徒の英語による言語活動の実施の割合は向上しているが、「話すこと」及び「書くこと」などの言語活動及び言語活動を通して指導することは必ずしも十分でないこと、「やり取り」や「即興性」を意識した言語活動が十分ではないことなど、発信能力の育成には依然として課題があることが見て取れる。また、その指導の充実のためには、ICT機器を有効に活用することが重要である。 発信能力を育成するために、どのように指導・助言していくかについて、実践事例を基に具体的に協議する。	
	提出資料	① 発信能力の育成に資する授業の学習指導案 ② 貴管内(附属学校等においては貴校内)における実態を踏まえ、次の2点についてまとめた資料 (1)発信能力を育成する上で課題となっていること (2)発信能力の育成のために指導・助言していること (附属学校等においては、発信能力の育成のために当該学校で取り組んでいること) ※ICTの活用に関することについては記載すること ③ 各都道府県・指定都市において作成し、指導・助言する際に活用している資料(任意提出) ※附属学校等の場合は、当該学校での校内研修等で活用している資料(任意提出)	
	作成様式	①③ 任意様式 ② 別紙様式6	
	提出資料作成に当たっての留意事項	①③ 任意様式。枚数は自由。1枚目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 ② 別紙様式6に、A4判1ページでまとめる。 【協議の進め方】 当日は、グループ内で、実践事例を基に協議する。グループ協議後、全体で共有する。	
読んで理解しておく資料	資料名	『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して ～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』(令和3年1月26日 中央教育審議会答申)(令和3年4月22日更新)	
	用意しておく箇所	資料全体(データでも可)	
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編 英語編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_09_1_2.pdf
	②	資料名	高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/20220715-mxt_kyoiku01-000021347_1.pdf
	③	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校 外国語
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hvouka/r030820_hig_gaikokugo.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

家庭部会

協議①			
	協議題	高等学校学習指導要領家庭科の「着実な実施」から「よりよい実施」へ向けた、教育委員会における取組	
	趣旨	全学年での実施となった高等学校学習指導要領家庭科のよりよい実施に向け、現場の教師が抱える課題意識を把握し、指導主事がどのような取組をする必要があるか、情報の共有とともに、共通の認識を持って域内の学校に対してよりよい指導助言ができるようにする。	
	提出資料	令和5年度の高等学校学習指導要領家庭科の着実な実施に関する取組とその成果と課題、及び、今年度のよりよい実施に向けての取組について具体的な手立ての概要	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>・以下の項目でA4判2ページ以内でまとめること。</p> <p>(1) 令和5年度の高等学校学習指導要領家庭科の着実な実施に関しての取組とその成果と課題 令和5年度の各教科等担当指導主事連絡協議会及び各教科等教育課程研究協議会(高等学校家庭部会)の協議内容を受けて、貴教育委員会としてどのような取組を実施したか、その成果と課題について記載すること。提出資料に関わって、資料を添付することも可能とする。令和5年度から担当者が交代した場合は、前任者から引き継いだ内容を元に、自らの視点も加えてまとめること。</p> <p>(2) 令和6年度、高等学校学習指導要領家庭科のよりよい実施に向けて各教育委員会で計画していることや取組について、すでに決定しているものだけでなく、今後の見通しについても記載すること。なお、関連する資料があれば併せて提出すること。</p> <p>※附属学校等の教員の方は、自身の授業実践について、(1)成果と課題、(2)課題の改善に向けて計画していることや取組を記載すること。</p> <p>【協議の進め方】 提出資料に基づき、グループ内で意見交換を行う。意見交換を通して、自身の担当する都道府県市や自身の授業実践の課題を再整理し、中長期的な展望をもとにまとめる。</p>	
協議②			
	協議題	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善する場面からの一連の学習過程を意識した単元計画とその授業展開	
	趣旨	家庭科、技術・家庭科(家庭分野)で育成することを目指す資質・能力は、「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせつつ、生活の中の様々な問題の中から課題を設定し、その解決を目指して解決方法を検討し、計画を立てて実践するとともに、その結果を、評価・改善するという活動の中で育成されるものであり、この一連の学習過程(生活の課題発見、解決方法の検討と計画、課題解決に向けた実践活動、実践活動の評価・改善)を重視して授業を展開していく必要がある。ここでは、「解決策を構想する」場面及び「実践を評価・改善する」場面に焦点を当て、指導のポイントについて協議を通じて考え、今後の域内の学校に対する指導助言及び自身の授業改善に活かす。	
	提出資料	<p>(1)「家庭基礎」または「家庭総合」の実践事例のうち、「解決策を構想する」場面、若しくは「実践を評価・改善する」場面の分かるもの(単元計画及び本時の授業展開)</p> <p>(2)選んだ意図とそのポイント(工夫されている点や改善の余地がありそうな点など)</p>	
	作成様式	<p>(1)任意様式</p> <p>(2)別紙様式3 ※共通様式</p>	
	提出資料作成に当たった際の留意事項	<p>(1)</p> <p>・単元の選択は任意とする。</p> <p>・本時の授業展開は、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定した上での「解決策を構想する」場面、若しくは「実践を評価・改善する」場面とすること。その際、ICTの活用場面がある場合は、そのことが分かるように示すこと。</p> <p>・様式は任意で構わないが、1ページ目上部の余白に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。</p> <p>(2)</p> <p>・A4判1ページ以内でまとめること。</p> <p>【協議の進め方】 提出資料に基づき、グループ内で事例を紹介し合い、「解決策を構想する」場面、若しくは「実践を評価・改善する」場面での指導及び授業実践のポイントについてまとめ、全体で共有する。</p>	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 家庭編
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_10_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 家庭】
		用意しておく箇所	資料全体(データでも可)
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_katei.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

情報部会

協議①		
	協議題	情報教育の充実に向けて
	趣旨	GIGAスクール構想の下での共通教科情報における学習指導、学習評価のさらなる充実や、情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントの工夫について協議することにより、学校への指導の充実(附属学校等参加者にあっては学習活動の充実)に活かす。
	提出資料	貴管内における実態を踏まえ、次の2点について、それぞれ項目を設けて具体的に記述する。 (1)共通教科情報の目標を実現する上での学習指導及び学習評価に関する課題と、その改善に向けて指導主事としてどのように助言や支援をしているのか(附属学校等参加者にあっては、校内でどのように取り組んでいるのか)。 (2)情報科の学びの成果を校内で共有することがさらに進められるために、指導主事としてどのように助言や支援をしているのか(附属学校等参加者にあっては、校内でどのようにカリキュラム・マネジメントを実施しているのか)。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・(1)(2)あわせてA4判2ページ以内で作成する。 ・共通教科情報科は情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することが教科の目標に含まれているため、GIGAスクール構想の下での1人1台端末やクラウド環境、コンピュータ教室などの情報環境の活用を踏まえた学習指導や学習評価の充実、カリキュラムマネジメントの実施について記述すること。 ・前年度と参加者が変わっている場合は、資料の作成に当たり、前年度の本協議会の行政説明資料や各参加者作成資料を確認するとともに、前任の方から情報を得ておくことが望ましい。 <p>【協議の進め方】 当日は、口頭発表をもとに、グループ内で協議しながら、改善を図るためのアイデア等を整理する。</p>
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	情報教育の充実に向けた特色ある取組
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・特色の捉え方として、例えば、情報Ⅰ、情報Ⅱに加えさらなる学びの充実を目指した学校設定科目の設置、入学から卒業までの各学年における情報科の科目を設置、「情報Ⅱ」の履修推進、外部人材の活用や産業界の連携等推進、数理・データサイエンス・AI教育プログラムへ円滑な接続を実現することを目指した情報科の授業実践などが考えられる。 ※様式は任意で構わないが、1ページ目の上部余白に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	
	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 情報編
	用意しておく箇所	資料全体
	インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407073_11_1_2.pdf

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

理数部会

協議①		
	協議題	理数探究基礎の指導と評価の計画について
	趣旨	理数探究基礎における単元の指導計画を作成し、今後の学校支援につなげる。
	提出資料	理数探究基礎の指導と評価の計画
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料の48・49ページの書き方を参考に、当該授業の学習指導案をもとに「科目名」、「単元名」、「本時のねらい」、「評価規準」について記載すること。可能であれば「評価例」も記載する。なお、一人一台端末やクラウド等を活用した学習指導についても触れること。</p> <p>・A4判2～3ページでまとめること。</p> <p>【協議の進め方】 グループ内で提出された事例のポイントを整理し、事例に即して具体的に実践上の課題及びその解決に向けた取組を協議する。その後、グループごとに発表し全体で情報共有を行う。</p>
その他提出資料（協議はしないが、情報共有のみするもの）		
	提出資料	「理数探究基礎」及び「理数探究」の開設の状況
	作成様式	別紙様式7
	提出資料作成に当たっての留意事項	<p>・令和5年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 理数部会（令和5年6月29日実施）で提出いただいた「その他提出資料」を更新すること。</p> <p>・別紙様式7の表外下部の注記を参照の上、「理数に関する学科」である全ての学科及び「理数探究基礎」又は「理数探究」を開設する全ての学科について記入すること。</p> <p>・令和6年度入学生に関するものが原則ですが、既に令和7年度入学生について把握しているものがある場合は、併せて記入すること。</p> <p>・附属学校等については、学校での状況をまとめること。</p>
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名
		「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 理数編」
		用意しておく箇所
	②	インターネットでの掲載場所
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）
	③	インターネットでの掲載場所
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）
		資料全体（データとして手元にあれば、印刷などの必要はない。）

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会
【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

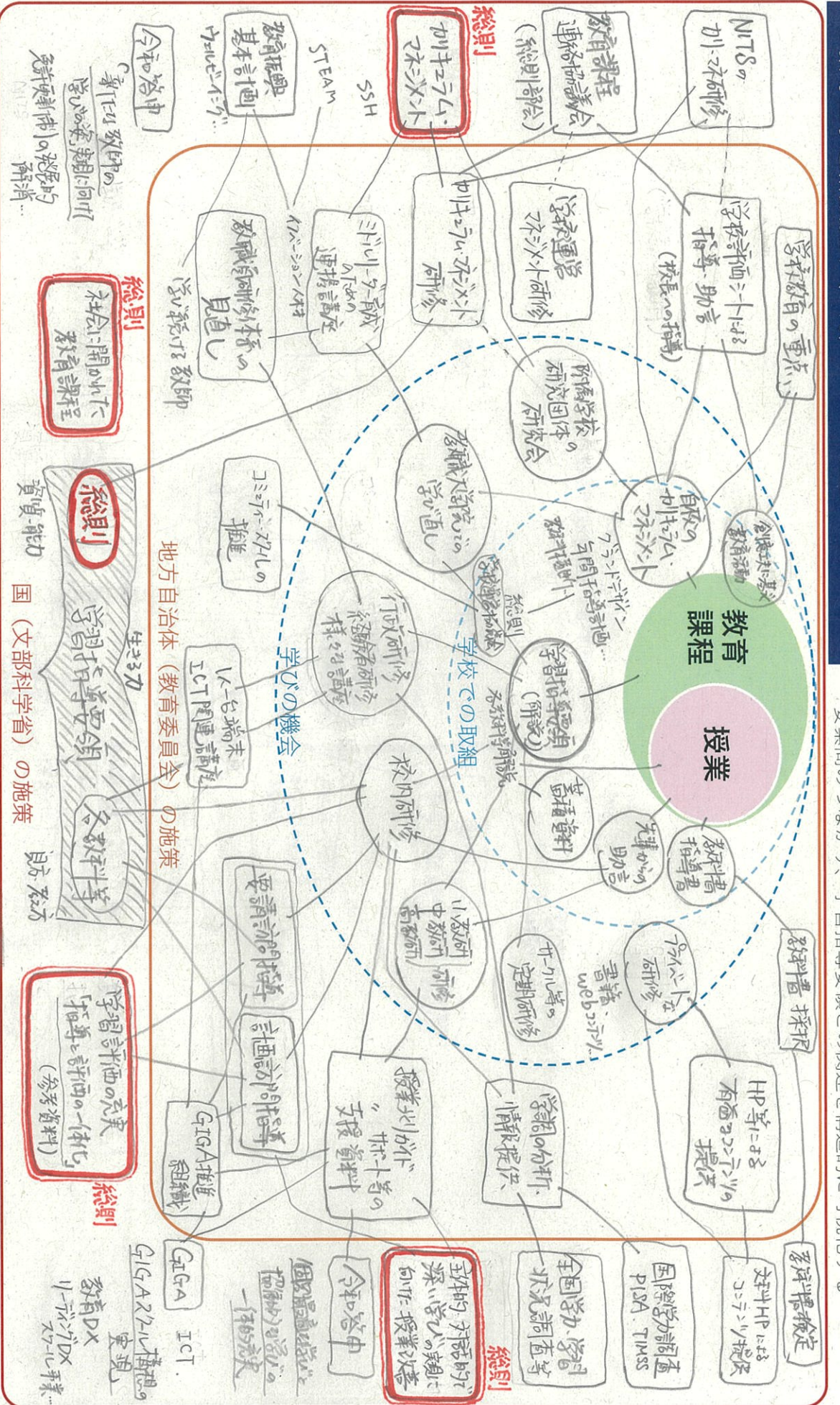
総合的な探究の時間部会

協議①			
	協議題	生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について	
	趣旨	総合的な探究の時間においては、生徒が実社会や実生活と自分との関わりから、自ら課題意識をもち、その意識が連続発展することが欠かせない。そのためには、実社会や実生活の中にある解決すべき問題と向き合って、自分で取り組むべき課題を見出していく必要がある。また、その課題は、生徒が解決への意欲を高めるとともに、解決への具体的な見通しをもてるものにすることで、そのことが主体的な課題の解決につながっていく。さらに、ICTを効果的に活用することにより、学習課題を具体的にイメージしたり、焦点化したりすることができ、課題解決の見通しをもつことにもつながる。このような課題の設定ができるようにするための指導の工夫について協議する。	
	提出資料	生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について、下記留意事項を踏まえ、A4判1ページ程度でまとめること。	
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式	
	提出資料作成に当たっての留意事項	・各都道府県、指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用した資料等があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。提出にあたっては、1ページ目の余白(資料右上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。なお、資料が複数ページになる場合であっても必要最小限の資料のみ1つのPDFファイルにとりまとめ、ページ下部中央にページ番号を挿入すること。 (様式は任意) ・附属学校等については、学校での取組をまとめること。 【協議の進め方】 ・本資料を基に、グループ毎に情報共有した後、生徒が自分で課題を立てることができるようにするための指導の工夫について協議を行う。	
その他部会当日に手元に用意しておく資料	①	資料名	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/content/1407196_21_1_1_2.pdf
	②	資料名	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料【高等学校 総合的な探究の時間】
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_sougou.pdf
	③	資料名	今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開(高等学校編)
		用意しておく箇所	資料全体
		インターネットでの掲載場所	https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/sougou/main14_a2.htm

令和6年度高等学校各教科等担当指導主事連絡協議会 【各部会における協議資料及びその他の提出資料】

特別活動部会

協議①		
	協議題	特別活動の学習評価の改善と工夫について
	趣旨	平成30年告示学習指導要領において、特別活動は学校が設定する観点別の学習評価となり、高等学校生徒指導要録には、「各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、○印を記入する」となっている。このような学習評価の改善を教育委員会としてどのように促したのか(附属学校等については学校としての取組)情報交換の機会とする。
	提出資料	令和5年度の学校での実践を踏まえ教育委員会として配布した資料や実施した研修会、創意工夫された学校での実践事例について、A4判2ページまでに「特別活動の学習評価の改善と工夫について」のテーマでまとめること。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。その際、様式は任意でよいが、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 附属学校等の場合は自校の特別活動の学習評価に関する資料を提出すること。
協議②		
	協議題	学校やホームルームへの適応に資するホームルーム活動の指導の工夫について
	趣旨	高等学校においては中途退学、不登校への対応が喫緊の課題となっている。その原因は複雑で学校内外の関係者が連携して対応する必要があるが、学校やホームルームが生徒にとって安心できる居場所となるよう支持的風土を醸成するにあたってホームルーム活動の役割は大きいものである。また、コロナ禍には対面での授業が難しい中でもICTを活用したホームルーム活動の実践が見られたように、不登校傾向の生徒に対しても一対一端末やクラウドの活用による指導の工夫も考えられる。それらも踏まえ、適応に関するホームルーム活動の実践についての情報交換の機会とする。
	提出資料	学校やホームルームへの適応を図るため、ホームルーム活動(1)「ホームルームや学校における生活づくりへの参画」、(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」における、域内の高等学校での創意工夫された実践事例について、A4判2ページ以内に「学校やホームルームへの適応に資するホームルーム活動の指導の工夫について」のテーマでまとめること。 ※ホームルーム活動(1)、(2)それぞれの実践事例の記載が望ましいが、ホームルーム活動(1)、(2)の充実を目指して教育委員会が作成した指導資料や指導主事が作成した指導案でも構わない。
	作成様式	別紙様式3 ※共通様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	各都道府県・指定都市において作成し域内市町村教育委員会や学校に対する指導・助言に際し使用している資料があれば、上記「提出資料」と併せて提出すること。その際、様式は任意でよいが、1ページ目の余白(原則として資料上部)に、部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。 附属学校等の場合は自校のホームルームへの適応に関するホームルーム活動の指導の工夫に関する資料を提出すること。
その他提出資料(協議はしないが、情報共有のみするもの)		
	提出資料	・特別活動による成果がみられた取組例(任意提出)
	作成様式	任意様式
	提出資料作成に当たっての留意事項	例えば、活動を通じて生徒の意識の変容や行動の変化など、成果が見られた取組例があれば提出すること。(ホームルーム活動や生徒会活動、学校行事いずれでも可) ※様式は任意で構わないが、1ページ目の余白(原則として資料右上部)に部会名、都道府県・指定都市名(学校名等)及び都道府県・指定都市番号を記入すること。
その他部会当日に手元 用意しておく資料	①	資料名 高等学校学習指導要領解説 特別活動編
		用意しておく箇所 資料全体(データで可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.mext.go.jp/content/1407196_22_1_1_2.pdf
	②	資料名 「指導と評価の一体化」のための学習評価改善に関する参考資料(高等学校 特別活動)
		用意しておく箇所 資料全体(データで可)
		インターネットでの掲載場所 https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r030820_hig_tokubetsuk.pdf
	③	資料名 特別活動の指導におけるICTの活用について
		用意しておく箇所 事前の動画視聴
		インターネットでの掲載場所 https://www.bing.com/videos/riverview/relatedvideo?q=ICT%e7%89%b9%e5%88%a5%e6%b4%bb%e5%8b%95&mid=01D3FD602E7BDB9DB9E01D3FD602E7BDB9DB9E&&FORM=VRDGAR



学習指導要領総則の趣旨実現に向けた教育委員会としての重点的な課題

重点的な課題に対するさらなる改善策

高等学校理科（生物基礎）学習指導案

1 単元名

- (1) 内容のまとめり (2) 「ヒトの体の調節」
 (2) 単元名 (イ) 免疫

2 単元の目標

- (1) 免疫について、免疫の働きを理解すること。
 (2) 免疫について、観察、実験などを通して探究し、免疫の働きの特徴を見いだして表現すること。
 (3) 免疫に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重する態度を養うこと。

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解し、知識を身に付けている。	免疫について、観察、実験などを通して探究し、免疫の働きの特徴を見いだして表現している。	免疫に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているとともに、生命を尊重しようとしている。

※ 本指導案では、生徒観、指導観などの記述については省略する。

4 指導と評価の計画（7 時間）

時 間	ねらい・生徒の学習活動	重 点	記 録	備 考（生徒の B 規準）
1	単元の導入 ・これまでの経験や学びを基に、病原体の侵入に対する防御の仕組みについて調べてまとめさせる。	態		・これまでの経験や学びを基に、病原体の侵入に対する防御の仕組みについて調べてまとめようとしている。
2	自然免疫 ・資料に基づいて、体内に異物が侵入したとき、どのような反応が起こっているのか考察し、異物を排除する仕組みがあることを見いだして理解する。	思	○	・資料に基づき、白血球は体に侵入した異物を処理する能力をもつことを見いだして理解している。[記述分析]
3	適応免疫 1 ・自然免疫だけでは十分に対応できない特定の異物に対する免疫の働きについて、その仕組みを理解させる。	知	○	・特定の異物に対する免疫の働きについて、その仕組みの概要を理解している。[行動観察]
4	適応免疫 2 ・B細胞がつくる抗体を用いる体液性免疫と、T細胞が直接攻撃する細胞性免疫があることを理解させる。	知	○	・体液性免疫と細胞性免疫の仕組みや関与する細胞について、その概要を理解して説明している。[記述分析]
5	免疫記憶・予防接種 ・資料に基づき、一度かかった疾患に再度かかりにくくなる仕組みを見いだして表現する。	知	○	・一次応答と二次応答に関する資料に基づいて、一度かかった感染症に再度かかりにくい仕組みを見いだして表現している。[記述分析]
6	免疫と疾患 ・アレルギーなど免疫の異常で発生する疾患やエイズについて理解する。	知	○	・アレルギーや自己免疫疾患の概要について理解している。[行動観察]
7	学習の振り返り ・免疫に関する知識をまとめるための単元プリントを作成させる。 ・これまでの免疫についての学びを振り返って、振り返りシートに記述する。	態	○	・単元プリントをきちんと作成している。[記述分析・行動観察] ・振り返りシートをきちんと記述している。[記述分析]

5 本時（第7時）の学習

（1）本時のねらい

これまでの免疫についての学びを振り返って、振り返りシートに記述する。

（2）評価規準

「主体的に学習に取り組む態度」

免疫の単元の学習を振り返って、振り返りシートにきちんと記述している。

（3）評価のポイント

本時では、教師が作成した免疫に関する知識をまとめるための単元プリントを生徒に配布して、そのプリントを完成させる。その後、単元プリントを班員で共有させる。最後にまとめとして、本単元の学習（全7時間）を振り返らせ、振り返りシートに自由記述させて、きちんと記述できているかを評価する。

（4）指導と評価の流れ

学習場面	生徒の学習活動	学習活動における具体的評価規準	評価方法
導入	<ul style="list-style-type: none"> 授業目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>課題 単元プリントを完成させて免疫の知識をまとめよう。また、免疫の学習（全7時間）を振り返って、振り返りシートに記述しよう。</p> </div>		
展開① （作成）	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や図解等を用いて、免疫に関する知識をまとめるための単元プリントを作成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元プリントをきちんと作成している。 	単元プリント
展開② （共有）	<ul style="list-style-type: none"> 作成した単元プリントを班で共有し、適宜、加筆修正する。 		
まとめ （振り返り）	<ul style="list-style-type: none"> 免疫の単元の学習（全7時間）を振り返って、振り返りシートに記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りシートにきちんと記述している。 	振り返りシート

(5)「主体的に学習に取り組む態度」の評価例

ここでは、振り返りシートの記述を分析することにより、評価を行う。

＜振り返りシートの質問＞

免疫の単元の学習(7時間)を振り返って、自由に記述しなさい。

なお、以下の判断基準表を基にして評価する。

評価A	振り返りシートにきちんと記述している。
評価B	振り返りシートに記述している。
評価C	振り返りシートに記述していない。 あるいは、振り返りシートに記述しているが、記述している内容が間違っている。